



第57回卒業証書授与式

第3学年主任 染田 宗彦

3月1日(水)、第57回卒業証書授与式が行われ、多数の来賓、保護者の皆様に見守られながら、232名の生徒たちが学び舎から巣立っていきました。57回生は、入学からずっとマスクをつけて学校生活を送り、各種行事の延期や中止、縮小を余儀なくされた3年間でしたが、そのような状況の中でもできることを精一杯楽しむ生徒たちの姿が印象的でした。

今年の卒業式では、在校生を代表して清家さんが送辞を読んでくれました。答辞で阿部羽菜子さんが、3年間支えてくれた多くの方々への感謝を述べました。そして、次のような内容で締めくくりました。「拝啓 3年前の自分へ 君は例年どおりの普通を過ごすことも、思い描いた青春の日々を過ごすこともできないかもしれません。けれど、素敵な先生方、先輩、後輩、そして何よりも大切な57回生の仲間と出会い、励まし合いながら自分の未来へと歩みを進めます。君は強風にも負けず耐え忍んだ桜のように、北高で学んだことを糧として粘り強く、三年後仲間と



ともにちゃんと前へ進んでいるよ。」

57回生を応援してくださったすべての皆様、3年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



総合的な探究の時間「長崎を元気にするアイデア探究」最終発表会 研究・図書部

2月9日(木)、2年生が総合的な探究の時間の最終発表会を行いました。「長崎を元気にするアイデア探究」を大テーマとして、各グループが研究を進めてきたものを集大成として発表してくれました。当日は、体育館で代表4グループが1年生に向けて全体発表を行い、その後教室ごとに分かれて分科会スタイルで各グループが発表を行いました。中には自分たちの探究を1年生にも引き継いでほしいというグループもあり、1年生も大いに刺激を受けたようです。

(代表グループのテーマ)

- ①北高生によるバスの混雑解消/スクールバス路線・時刻の改善
- ②城栄商店街を盛り上げよう
- ③制服のおゆずりシステム
- ④岩屋山登山のモチベーション向上

(1年生の感想)

“何よりもまず新1年生のために卒業して使わなくなった人の制服をクリーニングして、譲る

というアイデアがすごいと思いました。ユニセフにも募金しようと言われていて、大変興味深かったです。”

“現状から課題までをフローチャートでわかりやすく示されていて、こういうまとめ方もあるのかと勉強になりました。また、課題を解決してからまた新たに明確になった課題を解消しようとしている点も自分たちにはできていないことだったので参考になりました。”

“外国人も岩屋山にくるので、英語で書かれたマップを作らないといけないという意見や発想にとっても共感しました。私も来年この取組を深めてみたいです。”



